

平成29年度 社会福祉法人 大阪市旭区社会福祉協議会事業報告

近年、少子高齢化の進行や社会経済情勢の変化、地域におけるつながりの希薄化などを背景に、いわゆる「孤立死」に代表されるような社会的孤立など地域における生活課題は複雑化・多様化・深刻化しています。また、認知症高齢者等が増加するなかで、道路や線路内で事故にあうなど深刻な問題が発生しています。これらの問題を踏まえ、旭区社会福祉協議会では、見守り相談室や地域包括支援センターを軸として、相談支援体制の充実・強化に努めてきました。見守り相談室では、地域の見守り等につなげるため、各地域振興町会や各地区民生委員児童委員協議会への要援護者名簿の提供、孤立世帯等への専門的対応、また高齢者の行方不明時の早期発見の取組みなどを進めてきました。また地域包括支援センターでは、圏域内の民生委員の方を対象としたアンケートの実施や認知症の方への声かけ体験の実施、居宅介護支援事業者を対象とした事例検討会など、地域関係者や多職種との連携を図り、支援を要する高齢者の早期発見・早期対応に取組み、「もの忘れ予防ゲームリーダー養成講座」の開催により、認知症予防の取組みを実践する指導者の人材育成に取り組みました。

ボランティア・市民活動の推進としては、『あさひボランティアグループ紹介誌』を発行し、区内で活躍するグループの情報やボランティア・市民活動センターの取組みを広く区民の方に情報発信しました。また、グループ支援としての『保育ボランティア養成講座』や子育て中の親子への支援としての『子育てトーク』などの講座の開催、活動者同士のつながりづくりとしての『ボランティア交流会』、区内の大学や中学校三校への福祉教育の実施など、ボランティア・市民活動センター運営委員会の方々にご意見をいただきながら進めてきました。

介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向けた支援体制の充実として、新規事業である生活支援体制整備事業を通して、地域における見守りや支えあい活動などの支援体制の構築に向けて、まずは地域資源の把握に努め、地域で取り組める支援の検討や男性の居場所づくりとしての『男のカフェ』実施に向けた講習会や企画検討をおこないました。

小地域福祉活動の推進・支援として、各地域の校下社会福祉協議会や本会構成の各種団体が実施する、住民ニーズに適応した社会資源づくりの支援活動及び、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を推進・支援しています。また、各校下社協毎に会長をはじめとする役員の皆様方に、新規事業である生活支援体制整備事業について説明し、各校下での取組み状況等について、情報を共有し意見交換をおこなうなど、区社協と各校下社協との連携強化に取り組んできました。

1 地域福祉活動事業

事業名	開催月	開催回数	開催場所	内容
理事会・評議員会	5月・6月 10月 3月	6回	旭区在宅サービスセンター	5月・6月 事業報告・決算(案)他 10月 生活支援体制整備事業の実施(案)について、補正予算(案)について 3月 定款の一部改正(案)について他 3月 事業計画・予算(案)他
各校下意見交換会	11月	10回	各地域	生活支援体制整備事業の実施について 意見交換
第9回子育てわいわい広場inASAHI	6月	1回	旭区民センター	子育て中の方同士の交流や情報交換、支援者のつながりづくり、子育て情報発信の場 にすることを目的として開催 参加者数 420人
第43回 旭区民まつり	8月	1回	旭公園 グラウンド	・ヨーヨーつり、たこせんの販売 ・チラシ等の配付
旭区ふれあい広場	11月	1回	旭区在宅サービスセンター	地域での社会福祉活動を支援し、ふれあいの場を通じて共に生きる社会づくりを進めていくことを目的として実施 参加者数 422人
しょうぶ大学	10月 ～12月	6回	旭区在宅サービスセンター 旭区民センター他	・手打ちうどんづくり ・介護予防体操 ・認知症サポーター養成講座 ・旭区まち歩き、カレー作り 他 延べ参加者数 48人
しょうぶ大学 OB会	4月～3月	16回	旭区在宅サービスセンター 他	施設見学・勉強会・定例会議・ボランティア活動 延べ参加者数 491人
(ママ&パパ)ゆるり マタニティカフェ	4月～3月	11回	町家カフェ ゆるり	「子育てはおなかの中から始まっています」、新しい命の誕生を迎えるママとパパを、小児科医と先輩ママやパパ、地域のみなさんが、お茶を楽しみながら気軽に交流、情報交換できる場として開催 延べ参加者数 136人
(ママ&パパ)ゆるり マタニティカフェ 子どもエコまつり～ 支え支えられてホッ として～	8月	1回	子ども・子育て プラザ	子育てのつながり、虐待ネグレクト防止を目的にマタニティカフェのイベントの一環として、エコをテーマに開催。リサイクル衣料のファッションショーや、廃品を利用したゲームコーナー等を開催。 参加者数 121人
パパ&ママクラブ	毎月	1回	子ども・子育て プラザ	「マタニティカフェ」のパパ&ママたちがカフェ卒業後、孤立せず楽しく子育てできる環境づくりと交流の場としてグループ化を図り、また、虐待やネグレクトの防止を図る。延べ参加者数 138人

事業名	開催月	開催回数	開催場所	内容
子育てトーク	6月～9月	7回	旭区在宅サービスセンター	子育て中の保護者の不安解消を図るため話し合いの場づくりと、この事業に携わるボランティア育成を目的として実施 延べ参加者数 68人
共同募金活動協力	10月	6回	千林商店街周辺	街頭募金活動 参加者数 77人
旭区社会福祉施設連絡会	4月～3月	6回	旭区在宅サービスセンター 他	総会、施設見学、勉強会、情報交換、情報提供
あさひ子育て安心ネットワーク会議	6月・10月 月・2月	3回	旭区役所	6月 主な子育て支援事業について、キッズカードについて、グループ討議他 10月 学校と地域の連携について、グループ討議他 2月 今後の会議の持ち方について他
子育てサロン連絡会	6月・9月 12月 3月	4回	旭区役所	定例会議
あさひの輪	6月・9月 12月 3月	4回	旭区在宅サービスセンター	定例会議及び情報交換
和んで座談会勉強会	9月	1回	旭区在宅サービスセンター	・区社協事業の紹介 ・和んで座談会の紹介 ・今後の活動について
こども食堂ネットワーク会議	5月・7月 9月・10月 月・12月 1月	6回	旭区役所	定例会議及び情報交換
旭区こども食堂シンポジウム	2月	1回	旭区民センター	区内のこども食堂の周知とこども食堂への正しい理解の啓発 参加者数 104人
いきいきコミュニティのつどい	3月	1回	旭区民センター	・活動報告会（古市連合振興町会、高殿南連合振興町会） ・ピアノコンサート 参加者数 52人
広報紙発行	6月・9月 12月 3月	4回	—	57号～60号旭区社会福祉協議会だより発行（区役所広報紙挟み込み） 各42,000部発行

2 ボランティア・市民活動センター事業

1 ボランティア・市民活動センターの運営

	事業名称	備考(内容・参加人数等)
1	旭区ボランティア・市民活動センター運営委員会	3月13日 参加人数9人

2 ボランティア養成

	事業名称	実施内容・参加人数
1	初級手話講習会	日程：4月8日(土)～10月28日(土)までの 毎週土曜日(祝日を除く、全28回) 参加者：25人 延べ：233人
2	一時保育ボランティア養成講座	日程：7月14日(金)、21日(金)、26日(水) 参加者：9名 延べ：18人
3	ボランティア入門講座	日時：10月17日(火) 午前10時～正午 参加者：8人

3 ボランティア活動への支援

	事業名称	実施内容・延べ参加人数
1	視覚障害者ダンス交流会 (年2回、6月・12月に開催)	視覚障害者の外出の機会と交流の場づくりのために「視覚障害者ダンスサークル“アイ”」が開催する社交ダンス交流会に協力、出席 ○開催日：6月3日 参加者：235人 ○開催日：1月6日 参加者：124人
2	セブンゆう「のどじまん&うでじまん」	高齢者、障害者の生きがいづくりのために「セブンゆう」が開催する「のどじまん&うでじまん」への協力 ○開催日：3月25日 参加者：127人
3	「子育てトーク」の開催(全7回)	子育て支援ボランティアグループ「のびのび」と共催で「子育てトーク」を開催。「のびのび」の活動支援とともに、区内で子育て中の親子への支援の場とする。 ○開催日：5月11日、25日、6月8日、22日、7月13日、27日、9月14日 参加者：8組(親8人・こども11人) 延べ：68人(親47人・こども68人)
4	和んで座談会世話人会	○開催日：4月20日(木) 参加者数：3人 5月16日(火) 参加者数：3人 6月13日(火) 参加者数：3人 9月12日(火) 参加者数：2人 9月19日(火) 参加者数：9人 12月5日(火) 参加者数：6人
5	ボランティア交流会	活動者がつながりを持つ機会とし、ボランティア・市民活動センターの機能、役割をボランティア同士で検討する。 ○開催日：3月16日(金) 参加人数：26人
6	ボランティアグループ活動の推進	ボランティアグループの活動支援として、各グループの定例会などに随時出席

7	ボランティア・市民活動センターの活用	活動の場としてボランティアルーム、多目的室の貸し出し、メールボックスの設置
8	機材の貸し出し、活用	コピー機、輪転機、ラミネーター等の機器、文具品の貸し出し

4 啓発・広報

	事業名称	実施内容・啓発先
1	旭区社会福祉協議会だより「あさひ」の発行	ボランティア・市民活動センターだより 年4回発行 区広報紙に挟み込み (6月・9月・12月・3月) 登録ボランティア(個人・グループ)へ送付
2	「旭区ボランティア・市民活動センターだより」の発行	登録ボランティア(個人・グループ)へ送付 関係機関での窓口設置・区社協ホームページ上 (年3回)
3	「あさひボランティアグループ紹介誌」の発行	登録ボランティアグループのうち、掲載希望のあった27団体(平成30年3月末現在)の活動を 紹介する冊子の作成 各地域・施設連絡会加盟施設・登録ボランティア グループ等へ配布および区社協窓口への設置
4	旭区社協ホームページ「ボランティア・市民活動センター」の管理・運営	区社協ホームページ上のボランティア・市民活動 センターの紹介及び登録ボランティアグループ、 市民活動グループの紹介、ボランティア活動募集 ページの管理・運営

5 福祉教育

	実施場所	対象者	参加者数	実施内容・使用教材
1	大阪工業大学	大学3年生	22人	車いす・アイマスク体験・高齢者 疑似体験・認知症サポーター養成 講座 ○開催日：8月12日
2	大阪市立今市中学校	中学1年生	116人	・車いす体験学習(2日間) ・当事者の講話 ○開催日：12月4日、6日、 7日
3	大阪市立旭東中学校	中学1年生	178人	認知症サポーター養成講座(寸 劇) クラスの代表1人ずつ参加 ○開催日：3月3日
4	大阪市立旭陽中学校	中学2年生	78人	車いす・高齢者疑似体験 ○開催日：3月3日

3 地域包括支援センター事業

当センターは、大宮地域・高殿地域・高殿南地域を担当しています。出張介護相談会や見守り巡回等を行い地域関係者、区内関係機関との連携を図りながら、より細やかな支援に努めているほか、圏域内の認知症カフェでの相談や運営支援を行っています。また、認知症予防の取組みとして、平成27年度より「もの忘れの気になる人の会」を立ち上げ、当センターでの定例開催のほか、各地域における認知症予防の取組みに向けた人材育成および新たな社会資源の開発として、平成29年度に「もの忘れ予防ゲームリーダー養成講座」を開催し、地域関係者や養成講座修了生の協力により大宮地域において定例開催を行っています。

平成29年度 事業実績報告

総合相談件数		平成29年度累計			
相談 件 数	訪問・出張による相談	1,436件			
	電話による相談	3,911件			
	来所による相談	1,110件			
	その他	60件			
	延べ相談件数	6,517件			
	相談実人員	945人			
	訪問による相談実人員	521人			
相談 内 訳	家庭・家庭問題	191件	保健・医療サービスに関する事	714件	
	経済・生活問題	1,090件	虐待に関する事	205件	
	介護サービスに関する事	1,244件	成年後見制度の活用に関する事	170件	
	介護予防サービスに関する事	936件	いきがづくり	225件	
	介護予防事業に関する事	141件	その他	709件	
	福祉サービスに関する事	892件			
包活的 継続的 ケアマネジ メント	介護支援専門員個別相談件数	1,219件			
	居宅介護支援事業者連絡会の開催・参加	主催 8回			
	介護支援専門員への研修会	主催 3回			
会議 開催・ 参加 状況	地域ケア会議開催（高齢者）	主催 13回			
	ランチ連絡会	主催 7回			
	その他ネットワーク構築の為の会議	主催 92回	共催 46回	参加 78回	
	地域との関係づくり	主催 17回	共催 9回	参加 32回	

4 在宅福祉サービス事業

(1) 通所介護事業(デイサービス)

介護保険の要介護認定、また要支援認定を受けられた方を対象として、送迎、入浴、食事、各種レクリエーション、生活相談などのサービスを提供しています。利用者の方や地域の方々にご参加いただき運営推進会議を開催し、ご意見・ご要望をお聞きし地域に密着した事業として取り組みました。ふれあいを大切に、みんなで楽しい食事・介助入浴、体操やゲーム、カラオケなどで楽しく過ごしていただけるよう、個別のプランに基づいての援助を心がけています。またご家族に対しても、精神的・身体的に介護負担の軽減ができるよう支援しています。

契約者数(30年3月末現在)	33人	
開設日数	243日	
延べ利用者数	2,807人	
内 訳	要支援1	116人
	要支援2	858人
	要介護1	728人
	要介護2	562人
	要介護3	224人
	要介護4	193人
	要介護5	126人
1日の平均利用者数	11.5人	

(2) 居宅介護支援事業

利用者及びそのご家族が、住み慣れた地域で自分らしく過ごすために、介護に関する相談に応じ、利用者の生活の質の向上や家族の介護負担の解消等もふまえ、介護保険サービスやその他のサービス利用に必要なケアプランを作成を通じて、利用者のご家族の支援をしました。

ケアプラン作成件数 (30年3月末現在)	要支援	282件
	要介護	183件

(3) 大阪市介護予防教室(なにわ元気塾)事業

65歳以上の方が、毎月1回教室に参加し、地域の人と交流の機会をもつことで、交友関係が広がり、認知機能や生活全般の活性化を図り、自立した活動的な生活を送ることができることを目的に実施しました。生活機能の向上や認知症予防等の観点から、栄養、口腔衛生の話や体操、手芸、音楽などレクリエーション等を行い、楽しみながら閉じこもり防止につながる教室を各地域で通年開催しました。

・開催場所(各地域の老人憩の家など)	10カ所
・実施回数	120回
・参加延べ人数	1,830人
・1回の平均参加人数	15.3人

(4) あんしんさぽーと事業

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方の権利擁護を目的として、福祉サービスの利用援助、金銭管理サービスや証書等の預かりサービスを行い、地域で自立した生活が送れるよう日常生活を支援しました。

平成30年3月末での利用登録者数は150人となっています。

①相談件数

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
3,881件	2,309件	2,747件	285件	9,222件

②利用人数

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
71人	37人	39人	3人	150人

③待機人数

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
4人	0人	2人	0人	6人

5 生活福祉資金事業

主な貸付対象者は、低所得者、障がい者または高齢者の世帯となっており、民生委員児童委員協議会やくらし相談窓口、区役所等と連携を図りながら支援を行いました。

平成29年度事業実績報告

	相談件数 (延べ)	種 別	貸付件数	備 考	
生活福祉資金	966 件	福祉資金	14 件		
		内 訳	転宅費	1 件	
			その他日常生活費	4 件	エアコン・洗濯機・ 給排水設備費等
			緊急小口資金 ※	9 件	公的給付・初回給与 等までのつなぎ
	265 件	教育支援資金	8 件	高校・大学等費用	
		内 訳	教育支援資金	7 件	※教育支援費と就 学支援費の両方貸 付
			教育支援費	1 件	
			就学支援費	0 件	
	217 件	総合支援資金	3 件	離職者に対する貸 付	
		内 訳	生活再建費	3 件	
			住宅入居費	0 件	
			一時生活再建費	0 件	
	27 件	不動産担保型生活資金	0 件	住宅を担保にした 貸付	
内 訳		不動産担保型生活 資金	0 件		
		要保護世帯向け不動 産担保型生活資金	0 件		

※生活福祉資金とは、「福祉資金」「教育支援資金」「総合支援資金」「不動産担保型生活資金」からなる貸付制度の総称です。

※緊急小口資金とは、医療費や介護費の支払などの臨時に必要な生活費や、給与の盗難・紛失によって世帯生活費が必要なとき、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、個人ではなく「世帯」に貸付ける制度です。

6 あさひ学び舎事業

学業や進学環境が十分に用意されていない生活困窮世帯等の子どもが成長し、再び生活困窮に至るといふ「貧困の連鎖」断ち切るために、生活困窮世帯の中学生を対象に学習支援、生活指導や開発教育などを行い、高校進学による自立促進を目的に事業を実施しました。

内 容	実 施 回 数	参加者延べ人数
学 習 支 援	9 2 回	1, 3 4 8 人
食 育 事 業 (調理実習等)	1 2 回	1 0 0 人
コミュニケーション	1 2 回	4 0 人
その他 (郊外学習)	1 回	1 3 人

・参加者内訳

中学3年	—	19人
2年	—	5人
1年	—	8人
高校1年	—	2人

・進学先 (中学3年18人中18人が進学)

大手前高等学校	1人
常翔学園高等学校	1人
梅花高等学校	1人
生野工業高等学校	1人
大阪成蹊女子高等学校	4人
中央高等学校	1人
鶴見商業高等学校	3人
大阪偕星学園高等学校	2人
大正白陵高等学校	1人
興國高等学校	1人
大手前高等学校 (定時制)	2人

・スタッフ体制

コーディネーター	—	1人
サポーター	—	9人
ボランティア	—	7人

7 見守り支援ネットワーク強化事業

行政が保有する要援護者情報により、地域におけるきめ細やかな見守りネットワークの実現をめざすことを目的として、次の3つの機能をもとに見守り相談室として事業を実施しました。

(機能1)

要援護者名簿に係わる同意確認、名簿整理

	発送数	回答数	訪問件数
第1回(平成29年9月)	534	813	1,062
第2回(平成30年1月)	503	(内同意数 474)	

名簿提供件数

提供月	名簿提供件数
平成29年6～9月	971
平成30年2、3月	1,256

※ 地域での見守りを希望される要援護者の方の名簿を同意確認のうえ、各連合振興町会、各地区民生委員児童委員協議会に提供

(機能2)

①地域社会とのつながりを持つことが困難で、社会から孤立する危険性の高い要援護者世帯、セルフネグレクト等の専門相談及び見守り支援

相談形態	
訪問による相談	518件
電話による相談	708件
来所による相談	126件
その他	332件
延べ相談件数	1,684件

相談・支援内容					
経済・生活上の問題	599件	就労	0件	ごみ屋敷	10件
福祉	117件	いきがづくり	61件	その他	625件
保健・医療	64件	虐待	4件		
介護	7件	家族・家庭問題	3件		
子育て	0件	見守り訪問	268件	計	1,758件

②出張見守り相談室（みまもり庵）

開催回数	108回
------	------

（機能3）

行方不明等の恐れのある認知症高齢者等のメール配信による早期発見、保護支援

① 協力者

	29年度（新規）	累計
協定団体	12団体	29団体
協力者数	80件（人）	179件（人）

② 申請者

登録者数	44人
検索依頼件数	2件

平成29年度から、「認知症高齢者等支援対象者情報提供制度」が始まり、大阪府下の警察署が認知症又はその疑いのある高齢者等の保護・行方不明等事案について、管轄区域に該当する見守り相談室に必要な事項の情報提供を行い、その情報をもとに、見守り相談室では本事業の事前登録手続きをすすめたり、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等と連携し、早期治療による行動・心理症状の軽減、症状進行の緩和へと支援をつなげました。

警察からの情報提供案件	69件（延べ件数）
-------------	-----------

◎旭区医師会ものわすれ出張相談&認知症カフェ

認知症の方とその家族を支える場として、平成27年10月医師会、地域包括支援センターと連携して、認知症カフェを開設。安心して集える場として、29年度も3圏域で開催しました。

圏域	認知症カフェ 開催回数	延べ参加者数 (ボランティア含む)
旭区	11回	96人
旭区西部	11回	77人
旭区東部	11回	279人
合計	33回	452人

8 子育てサービス利用者支援事業

子育てに関することの身近な相談窓口として、一時預かり、学童情報、保育園・幼稚園、子育てサロンなどさまざまな役立つ情報を提供します。旭区役所2階にて、月～金曜日に窓口を開設しています。

1 相談業務

◎ 相談件数

相談件数				
来庁	電話	出張相談	その他	計
412	22	461	0	895
対応別延べ件数計				
1,182				

◎ 相談内容区分

区分	件数	対応別延件数	備考
保育・教育	13	13	
地域子育て支援	158	158	
認可保育所	303	342	入所書類援助・保育所情報提供
認定こども園	41	64	入園援助・こども園情報提供
幼稚園	157	200	入園援助・幼稚園情報提供
地域型保育(保育ママ・小規模保育)	3	5	地域型保育園情報提供
認可外保育施設	12	42	認可外保育園情報提供
一時預かり	44	83	大阪市一時預かり事業情報提供
病児・病後児保育	11	25	旭区・隣接区病児保育施設紹介
地域子育て支援拠点事業	99	125	旭区・隣接区子育て施設情報提供
子育てサロン	10	26	
その他子育てサークル	0	1	
ファミリーサポート	12	39	
放課後児童等	5	7	旭区内学童・有料学童情報提供
その他	15	31	ハローワーク・キッズカード・保健活動
アレルギー児に関する相談	0	0	
外国籍住民からの相談	5	5	
将来の子育て家庭相談	0	0	
その他	0	0	
適切行政窓口紹介	6	13	支援室・保健師・ひとり親サポーター
専門機関紹介	1	2	旭区社会福祉協議会・療育施設
その他	0	1	保健師見守り依頼
計	895	1,182	

2 広報情報発信

広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン、プラザ、区民センター等での出張相談業務時や健診時、子育て支援施設訪問時に配布 ・生涯学習センター梅田、クレオ子育て館、クレオ東、区内郵便局、産婦人科、商業施設、あったかきち ・旭区社会福祉協議会だより掲載 6月・9月・12月 ・旭区社会福祉協議会ホームページ掲載 3月
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園・こども園の概要や入園・入所の流れについての説明と個別相談を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ①『保育所、幼稚園相談会』旭子育て支援センター 8月 ②『入園・入所ガイド』旭区子ども・子育てプラザ 3月 ・あったかギャラリー開催 1月24日～3月28日 「保育所・園、幼稚園の入所・入園に関して」「一時預かり事業実施施設」「病児保育施設」「親子で遊べる場所」等、子育て情報の掲示
作成資料	<ul style="list-style-type: none"> ・しょうぶちゃんマップ9月改訂 ・子育て相談総合案内チラシ&あったかギャラリー&入園・入所ガイドチラシ ・幼稚園一覧&選びのポイント ・保育所一覧&保育所見学に行きましょう ・一時預かり事業実施施設(5月・1月改訂) ・病児保育実施施設 ・認可外保育実施施設

3 開催イベント

- ・親子向イベント『あったかトーク』 旭区子ども・子育てプラザ 10月、2月開催
- ・『保育所、幼稚園相談会』 旭子育て支援センター 8月開催
- ・『入園・入所ガイド』 旭区子ども・子育てプラザ 3月開催
- ・あったかギャラリー開催 あったかきち 1月24日～3月28日開催
- ・あったかきち子育てイベントサポート 29年7月～30年3月開催
「英語で遊ぼう」「ミニ絵本展」「つくって遊ぼう」「クリスマスイベント」
「赤ちゃんの快適な 冬の過ごし方」「からだを動かして遊ぼう」「子どもの食事について」
「赤ちゃんとおっぱいを守る防災講座」「絵本おはなし会」「親子で遊ぼう」

9 生活支援体制整備事業

今後さらに増加する高齢者の生活支援サービスに応えるため、平成29年11月1日より「生活支援コーディネーター」を配置し、住民主体のサービスをはじめ、ボランティアやNPO、民間企業など、多様な事業主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築を支援します。

	事業名	開催月	開催場所	内容
①ニーズと地域資源の把握・ネットワーク化	協議体の開催	3月	旭区在宅サービスセンター	社会資源マップ作成に向けた情報収集や区内の高齢者が抱える課題の共有を行う。
	情報収集	11月～3月	各地域 他	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域での取組み（食事サービス、ふれあい喫茶、百歳体操等）での聞き取り ・地域ケア会議等への出席
②地域資源・サービス開発	担い手発掘・養成	1月・2月	旭区在宅サービスセンター 他	<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴ボランティアの活動拡充 ・傾聴講座開催に向けた準備、調整
	小地域活動の立ち上げ支援	1月・3月	旭区在宅サービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションでの見守り活動立ち上げに向けて意見交換、住民アンケート(案)の作成および提案 ・百歳体操の立ち上げに向けて意見交換
③活動の場の発掘・開発	男のカフェ「火の鳥」	3月	旭区在宅サービスセンター	<p>男性の居場所、活動の場づくりをめざして、男のカフェ講座受講者を中心に、男のカフェ「火の鳥」を毎月第2金曜日に定期的に開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男のカフェ講座の開催（2回） ・コーヒーのいれ方講習会の開催
④サービス実施情報の提供・周知	事業周知活動	11月～3月	—	<p>11月 各校下意見交換会での事業説明および地域課題の確認</p> <p>11月 生活支援コーディネーターチラシの作成および配布</p> <p>3月 区社協だよりへの掲載</p>
	広報紙発行	3月	—	平成30年4月の発行に向けて、あさひあったか通信（創刊号）を作成

10 旭区子ども・子育てプラザ事業報告

在宅において子育て中のご家庭や地域の子育て活動を支援するため、様々な情報の提供や講座・イベントの開催、乳幼児とその保護者が自由に遊べる場所の提供等を行いました。

(1) 子育て活動支援事業

ア 事業趣旨

次代を担う子どもの健やかな育成と家庭や地域の子育て力を高めるため、在宅で子育て中のご家庭や地域の子育て活動を支援するとともに、乳幼児期の親や子育て支援関係者、就学期の子どもたちが集い交流する機会を提供し、地域福祉活動の推進を図ることを目的としています。

イ 主な事業内容

(ア) 子育て情報の提供

- ・子育て支援サービス・施設・団体等の情報提供
- ・子育て支援の情報誌の作成

(イ) 子育てサークルへの活動支援

- ・活動場所の提供や資料提供・備品の貸し出しなど

(ウ) 子育て支援講座や親子イベントの開催

- ・手形を押そう、こいのぼりを作ろう、七夕飾り、運動会、クリスマス会、お誕生会、身体測定、新春のつどい、プラザでまめまき、英語であそぼう！、ちょこつと遊ぼうなど

(エ) 児童健全育成事業

- ・昨年同様、子どもたちの何か「手伝いたい」という声を形にした「子ども職員」を新たなメンバーを募集して継続実施しました。また、活動内容を充実するため、「子どもボランティア会議」についても継続実施しました。その会議での成果をプラザ事業等、特に乳幼児が参加する「つどいの広場」で活かしました。
- ・エコキャンドル作り、手打ちうどん体験等の講座開催
- ・プラバン工作、クリスマスツリー作り、アクセサリー作りなどの行事の開催
- ・自由な遊びの機会の提供など

(オ) その他

- ・児童青少年団体や地域の公的な団体等の活動場所の提供
- ・森小路保育所との連携・相互交流
- ・子育て機関と連携し、わいわい広場（7月）旭ふれあいまつり（10月）に参画

ウ 利用状況

○利用者数

乳幼児	小学生	中・高校生	大人	計
2,473人	5,921人	196人	2,099人	10,689人

※ブックスタート、ファミリーサポート・センター事業、地域関連事業を除く。

○子育てサークル

年間登録サークル数	3サークル
延べ利用回数	45回（1サークル：月4回まで利用可）
延べ利用人数	456人（乳幼児とその保護者）

○一般利用サークル

年間登録サークル数	7サークル
延べ利用回数	206回（1サークル：月4回まで利用可）
延べ利用人数	2,605人（小・中・高校生、大人）

(2) 大阪市つどいの広場事業

ア 事業内容

つどいの広場事業は、主に乳幼児(0～3歳)を持つ親とその子どもが気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合い、交流を図ることや自由に利用できる場所を提供しています。

利用については、火曜日～土曜日の9時30分～12時まで

ダイニングルーム 12時～14時まで

赤ちゃんルーム（和室） 9時30分～14時30分まで

イ 主な定例事業・行事

- ・お誕生会
- ・リトミック体操
- ・地域ふれあい子育て教室
- ・身長・体重測定の日
- ・ちょこっと遊ぼうなど
- ・ブックスタート

ウ つどいの広場利用者数

乳幼児	保護者	計
5,875人	4,906人	10,781人

(3) ファミリー・サポート・センター事業（支部業務）

ア 事業内容

大阪市は、「子育てを援助してほしい人」と「子育てを援助したい人」を会員として互いに子育てをささえ合う「大阪市ファミリー・サポート・センター事業」を実施しています。会員による子育ての相互援助（子どもを預けたい方と預かることができる方をコーディネート）により、地域で子育てを支え合うサポートをしています。円滑に事業実施をするため、「大阪市立男女協同参画センター子育て活動支援館（クレオ大阪子育て館）」に本部を設置し、各区プラザに支部を設置し連携しています。支部業務は区内での会員募集・登録及び相互援助活動の調整にかかる事務、本部・近隣支部・関係機関との連絡調整、区内広報活動、会員研修などを行いました。

- ・ 依頼会員 大阪市内在住で、生後3か月から10歳未満のお子様の子育ての援助を希望される方
- ・ 提供会員 大阪市内在住で、自宅でお子様を預かることができる方（但し、子育て支援ボランティア講座（24時間）の受講が必要です。）

イ 利用状況

提供会員数	依頼会員数	両方会員数	総ペア数	援助活動依頼件数	援助活動実施件数
31人	61人	4人	266組	196件	130件

※他区へ依頼（都島区66件）